

おいがみ飛行機 教室のようす

2/5
(日)

「ふるさとわらべ館」から講師をお招きしました。丁寧にきちんと折れば競技会出場も夢ではないということで、難しいところはおうちの方に手伝ってもらいながら、みんな一生懸命折りました。



遠くまで飛ぶタイプと、長い時間飛ぶタイプの2種類の紙飛行機を作ったあとに、全員で競技会を行いました。小学生以下、小学生、大人と3階級に別れて競いましたが、飛ばす瞬間の眼の輝きは子どもも大人も一緒ですね。自分で飛ばした紙飛行機の記録に、喜んだり悔しがったりと、会場内は大歓声にあふれました。

「難しかったけど、飛ぶものができた」「親子で楽しめた」「忘れないように家で何回もつくりたい」という感想がたくさんでした。



NPO Manabitto yahime news ~図書館だより~

なかよし八暖

No. 43 2017. 3

どこまでも
飛んで行け~!



2/4(土)~
2/19(日)

楽しかったね! 「絵本だいすき」

「いっしょによもうね!!おやこで・かそくで・ともだちで」というテーマで開催した今年の「絵本だいすき」。期間中は、家族や友達と楽しめるさまざまなイベントを開催し、たくさんの方にご来場いただきました。本号ではそれぞれのイベントの様子をご紹介します。

おすすめの本の展示

全期間



館内には、図書館職員はもちろん、市内小中学校の児童・生徒や、読書ボランティア・教育関係者など、みなさんからの「おすすめの絵本」を展示し、貸出をしました。展示本にはそれぞれ「おすすめポイント」が書かれた「紹介カード」をはりました。こんなにステキなカードでおすすめされると、どれも読んでみたくなりますよね。

あなたやお友だちが紹介した本は、どこに展示されていたか探すことができたかな?

本館では大人の方に読んでほしい絵本なども紹介。いつもとは違った雰囲気は楽しんでいただけたでしょうか。



化学あそび教室のようす

2/12
(日)

図書館には科学実験や自由研究の本がたくさんあります。「化学あそび教室」では、本の中に紹介されているあそびから「紙コップのなきごえ」と「ストローぶえ」を作りました。家庭によくある材料で、いったいどんなものができのでしょうか?



講師は元小学校教諭の平田満明先生。

紙コップの底に糸を通し、その糸を濡らしたティッシュで強くひっぱると、まるでカエルの鳴き声のような音が!引っぱる強さを変えると、大小のカエルの大合唱になりました♪ストローぶえでは、お父さんやお母さんの方が鳴らすのが上手で、子どものころ草笛で遊んだ記憶がよみがえったのかもしれませんね。

どちらも音の振動を利用した遊びで、糸の長さを変えたり、ストローに穴を開ける位置を変えたりと応用できるので、自分たちでアレンジしたものが次々とできていました。

「簡単な遊びだったが奥が深かった」「家族で楽しめる、簡単で身近な材料で良かった」「アレンジできておもしろかった」という楽しい感想が聞かれました。



聞こえる?

2/4(土)~
2/18(土)

ぬいぐるみの おとまりかい!



絵本のおみきかせ
たのしいな♪

テーブルは
まかせて!



本の修理はたいへんだ



子どもたちが大切にしているぬいぐるみが、図書館にお泊りをしました。

お泊り中にいろいろな仕事をしたぬいぐるみの様子をアルバムにして、お迎えに来た子どもたちにプレゼント。ぬいぐるみが自分のために選んでくれた本を借りて帰るようすは、とてもうれしそうでした。

謎解きスタンプラリー

全期間

いろはちゃんとりんねちゃん、お父さん・お母さんといっしょに全館達成!やったね!

八女市立図書館の本館と5つの分館をめぐるスタンプラリーも大好評でした。

各館で館内に隠されたキーワードを探してスタンプを集め、最後の謎が解ければプレゼントをゲット。なんと1日で全館を回る強者も!

みなさんからは「星野や矢部の分館に行ったのは初めて。遠かったけど楽しかった」「またやりたい」というお声も聞きました。



おもしろかった!

2/19 (日) 児童書作家 杉山 亮 先生

講演「子どもとものがたりのいい関係」
おはなし会「杉山亮のものがたりライブ」



『あらしをよぶ名探偵』 偕成社



午前に行われた講演会では、杉山先生の実体験を交えながら、子どもたちがものがたりと触れ合うことの大切さについてお話いただきました。子どもたちへ“よい本”と呼ばれるものだけを与えるのではなく、たくさんのお本を手渡していくこと。子どものうちは何度だって失敗してもいいし、ムダなことや大変なことも、本の世界でどんどん体験していくことで、将来、いろんな選択肢の中から物事と向き合える力がつくようになる。だから、いろんな本と出会わせてあげてください、という言葉が印象的でした。また、本は活字が苦手な子にとっては“ハード”で、ただ苦痛になるものだと先生は語ります。そうした中で、子どもたちにお話の楽しさを伝えようと、“ソフト”なものがたりを耳から届けていく「ものがたりライブ」を各地で行っていらっしゃいます。

午後のものがたりライブでは、手遊びからはじまり、山梨県にある八ヶ岳の虫の話や、筑後川や熊本県の昔話をもとにした創作「かっぱのすもう」、「肥後のそうめんばあさん」など、ウソかホントか分からないような笑い話をたくさんいただきました。子どもも大人も転げまわるように大爆笑し、とても楽しい時間となりました。最後は先生の手作りの馬券が配られ、どうぶつ競馬スタート！勝った動物の馬券を持っていた方には、先生から素敵なプレゼントがありました。



本の修理



2/9～10 西中学校から
職場体験生が来ました

むずかしい
ページ外れの修理も
がんばりました！

カウンター体験



三角 侑嗣くん 西江 祐人くん

カウンターでの貸出・返却や、本の修理などたくさんのお仕事を体験しました。館内には二人のおすすめの本を手作りのPOPと一緒に飾っています♪



配架

八女市立図書館 黒木分館
布の絵本製作ボランティア

虹の会

八女市内の
ボランティア紹介
第12回



黒木分館で行われた布の絵本教室の受講者で、平成11年に「布の絵本製作ボランティア 虹の会」として発足しました。会員の高齢化が進むなか、今年で活動17年目となり、約60作品を作り上げてきました。現在では、6名でポーチポーチ活動しています。



最初は製作するだけのつもりでしたが、作品を使って読み聞かせをし、子どもたちへ届けていくことまでが、私たちの役目ではないかと考え、何度も講習を受けた後、読み聞かせも実践するようになりました。また、年に一回、黒木分館で「布の絵本製作教室」も行っています。

図書館員の
おすすめ

BOOK



『漆器のあるテーブルセッティング』
浜 裕子 著／誠文堂新光社(596 円)

「漆器」のある、美しいテーブルセッティングの数々。季節ごとのお祝いや、人が集まるシーンに合わせたセッティングのアイデアを、漆器使いのセオリーとともに紹介。漆器の産地や、選び方、扱い方なども解説する。



『ずぼらヨガ』 崎田 ミナ 著

福永 伴子 監修／飛鳥新社(498.30 円)

いつでも、どこでも、簡単リセット！漫画家業を3年でリタイアするも、ヨガによって心身の健康を徐々に回復していった著者が、ずぼらでも運動ギライでも続けられるヨガ・ストレッチをイラストエッセイで紹介。



『本を守ろうとする猫の話』

夏川 草介 著／小学館(913 ナツ)

高校生の夏木林太郎は、祖父を突然亡くした。祖父が営んでいた古書店をたたみ、叔母に引き取られることになった林太郎の前に、人間の言葉を話すトラネコが現れて…。『神様のカルテ』の著者、初のファンタジー長編！